

空港の軍事利用拡大狙う

防衛相使用「下地島空港も」

浜田靖一防衛相は20日の記者会見で、全国の民間空港を利用して自衛隊機などを運用するために「口頭から訓練を重ねることも、平素から柔軟に利用できることが重要だ」と述べ、下地島空港(沖縄県宮古郡市)も「含める」としました。全国での民間空港の軍事利用拡大を狙う日本政

府の露骨な姿勢が示されました。沖縄県が管理する下地島空港をめぐっては1971年の「屋良寛書」で、当時の琉球政府と日本政府が軍事利用しないことで合意。同空港を訓練で使用しようとした在沖繩米海兵隊が、県の強い自衛隊を要請を受けて19日に使用見送りを県に伝達し

たばかりです。

浜田氏は11日(日本時間12日)、「有事」をにらんだ「空港、港湾の柔軟な使用」で一致した日米安全保障協議委員会(2プラス2)に出席したばかり。今回の会見では、安保3文書の一つである「国家安全保障戦略」などを踏まえて「民間空港を含む公共インフラの整備や利活用について今後、関係省庁間で積極的に議論していく」と述べました。